

こうきょうみんかん ニュース

2025年 Vol.16

発行：公共サービス民間労組評議会

賃上げ 2万円以上を勝ち取ろう

公共サービス民間労組評議会 2025春闘方針を決定

公共民間評議会は1月18～19日、公共サービス民間労組春闘討論集会を東京で開き、2025春闘方針を決定した。初日の全体集会では連合の仁平総合政策推進局長を講師に招き「2025春闘における適正な価格転嫁の取り組み」と題して価格転嫁の現状について講演を受けた。全体集会終了後には5年ぶりに夕食懇親会を行い、全国の仲間との交流を深めた。

全体集会のはじめに橋本公共民間評議会議長と木村本部副中央執行委員長が主催者を代表してあいさつし（右下に要旨）、続いて全国一般評



① 初日は対面とウェブあわせて40県本部146人が参加、②連合の仁平局長、③鬼木まこと議員、④岸まきこ議員



議会を代表して肥後副議長が連帯のあいさつ。その後「2025春闘の取り組み方針案」を比田井事務局長が提起し、「20,000円以上の賃上げ要求」を掲げた。これに対して各県本部から方針案やモデル要求案に対して補強を求める意見や各県の公共民間労組の取り組みが報告された。

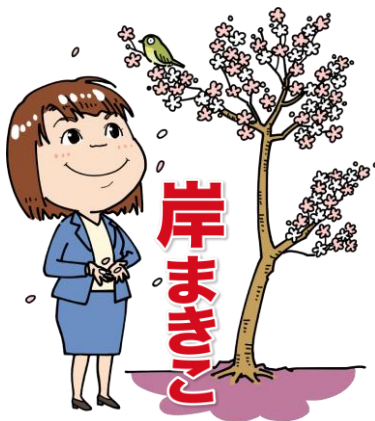
休憩後には、組織内国会議員の鬼木まこと参議院議員と岸まきこ参議院議員が会場に駆けつけ、岸議員は国政報告

と今夏の参議院議員選挙にむけた決意を述べた。

全体集会で講演した連合の仁平総合政策推進局長は、中小企業の春闘と労務費の価格転嫁の実施状況、今春闘の連合の具体的な取り組み内容などについて詳しく話した。全体集会は橋本議長のまとめと2025公共民間労組の春闘勝利にむけて力強い団結がんばろうで締めくくった。

2日目は4つの分科会を行った（裏面に分科会報告）。

初日全体会の録画をアーカイブ配信しています。



主催者あいさつ

物価高による実質賃金の低下は生活ひっ迫の証左であり、大企業との差が開くばかりである。連合に期待するだけではなく、民間相場が人事院勧告に影響を与えるため、我々も5%以上の目標を掲げ、産別の自治労として取り組む。我々の仕事は自治体の政策に強く影響を与える職場であり、制度・政策を変えていく働きかけとして議会対策は大きい。今夏の参議院選挙にむけて岸まきこの名前の浸透をお願いします。

より良い労働条件で働けるように

第1分科会 指定管理者制度・委託契約制度の問題と課題



全国公立文化施設協会の岸正人さんが「指定管理者制度に『賃金スライド』の導入

を」と題して講演。単組報告として①賃金スライド制度の導入等の事例（さっぽろ公共サービス労組）、②指定管理に関する取り組みについて現状報告（草津市スポーツ振興事業体労組）があった。

賃金スライド制度についてグループ討論を行い、「物価・賃金は上がっているが、支払う財源の確保がままなら

ない」「募集しても若い人が集まらない」「年々委託料が減っているため交渉が困難」「当局・自治体単組・議員と協力して進めない事には難しい」などの課題があがった。

「賃金スライド制度を導入すれば、人材不足の解消やより良い労働条件の整備が期待される。導入していきたい」との意見・報告を確認した。

福祉業界の現状と将来性を考える

第2分科会 福祉現場の現状と課題

「福祉現場における人材確保の現状と課題」と題して、NPO法人「ことぶき介護」管理者の梅田達也さんが講演。福祉現場においてもすきまバイト（スポットワーク）が人手不足の介護現場で急激に広がっていて、深刻な問題となっている。また、介護業務における外国人の雇用を検討

しているが、雇用形態をどうするかを考えなければならない。賃金の底上げがないと介護福祉人材は増えないなど様々な議論がでた。『本人の意思を守り、生活を叶える』ことが介護であり、誰にでもできる仕事ではない。これまで以上に社会全体（全国民）に対して介護の仕事の専門性を



アピールし、理解を促すことが賃金アップに繋がると確認した。

身近な課題の解決策を討論

第3分科会 こんな時どうする？ ～「見える化」してみた～



各公共民間単組では業種により様々な問題が生じるため実際に起こりえる仮定事例を

想定し、グループに分かれて解決策を模索、検討した。

ワークショップは2つのテーマで実施。一つ目の組織強化では「組合の課題解決～こんな時、どうする！？～」と題して、①組合員からのパワハラ相談、②人員が足りない！③人件費の削減が提案された！の3事例から各グループで1事例を選択、討議した。

二つ目の組織拡大では「未加入者の組合加入オルグ」と題して、①組合は何をしてくれるの？②お金がないので入らない、の2事例から1事例を選び、ワークショップを行った。2つのテーマとも、初動、経過、終結を考えながら、問題の解決手法について意見交換した。

共済制度のPRがカギ！

第4分科会 共済制度を活かして組合加入につなげよう！

「じちろう共済の概要」と「組合加入につなげるために」の2つのテーマについて本部総合組織局の永井オルグが講演した。永井オルグは講演で、①保険と共済の違い、②共済は営利を必要としない、③無駄な保険に入らない、④マイカー共済の内容、など未加入者が知りたい具体的な情報を提供し、加入促進に繋げよう

と話した。

講演後、「あなた（の組合）だったらどうする？共済を活用した組合加入勧奨のプランと具体的な方法を考えてみましょう」をテーマに、3人1組のグループで意見交換。

班ごとに方法を発表し、「共済の特徴や魅力を広くPRするために、寸劇の動画配信をする」など、新たな方法を



取り入れて組合員の新規加入に繋げていく提案がなされた。